

2022年  
参議院  
特集  
政策解説

「骨太の方針2022」  
医療費抑制政策をさらに加速させる岸田自公政権

協会政策部

7月10日投票が予定されている参議院選挙。コロナ禍から教訓を得て、日本の医療・社会保障を充実させる政治への転換が求められている。今回は、この間の政府が公表した文書から、今後どのような医療政策が計画されているのかを解説する。

6月7日、政府は「経済財政運営と改革の基本方針2022」(以下、「経済財政運営と改革の基本方針2022」)を公表した。22年「新しい資本主義」を軸とした成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現(以下、「骨太の方針」)を閣議決定した。また、5月25日には財務省の財政制度等審議会が「歴史の転換点にお

ける財政運営」(以下、財政審「建議」)を公表した。これらの文書から明らかにしたのは、医療費抑制政策の継続である。医療費抑制政策の「骨太の方針」では、令和5年度予算において、本方針

が行われる可能性がある。高齢者の保険料大幅引き上げ 「骨太の方針」では「後期高齢者医療制度の保険料賦課率の引上げを含む保険料負担の在り方等各種保険制度における負担能力に応じた負担の在り方等の総合的な検討を進める」と盛り込まれた。この点について、財政審「建議」は「介護保険制度も参考として、高齢化に伴う人口構成の変化をより反映させる

ことを通じて、後期高齢者医療制度における高齢者の保険料による負担割合を高めていく」としている。現在、後期高齢者医療制度の財源における保険料の割合は11・72%であるが、介護保険料における65歳以上の保険料割合は23%であり、同様の負担割合となれば、保険料の大幅な引き上げが不可避となる。

「新自由主義からの転換」は果たしたのか? 以上みてきたように、岸田政権下初となる「骨太の方針」等には、岸田首相が口にした「新自由主義からの転換」は、どこにも見られず、これまでの医療費抑制政策をさらに加速するものであることが明らかになった。世界中では、新自由主義の見直しが進んでいる。日本の消費税にあたる付加価値税の減税は81の国と地域に及び、イギリスやアメリカでも富裕層への増税や法人税率の引き上げが始まっている。日本でも今回の参議院選挙で真に新自由主義を転換し、医療・社会保障を充実させる政治への転換が求められている。

「格差是正こそ真の経済成長への道」か

神戸女学院大学 名誉教授 石川 康宏



り出された、保健・医療行政のお粗末ぶり、市民のくらしを支える意志のない「新自由主義」の政治・経済運営、市民の不満と怒りは急速に高まりました。その直接の表れが総選挙を前にした党内閣の支持率の急低下でした。

見せました。ちなみに安倍氏による支持は「保守派」の期待を裏切らないとの約束にもとづくもので(NHKスペシャル「政治ドキュメント」永田町・権力の攻防)2022年1月16日、その「保守」とは日本会議や神道政治連盟に代表される戦前礼賛の右翼思想のことでした。

直近の経済財政諮問会議(5月31日)では、アベノミックスの3本の矢①②③の③「民間投資を喚起する成長戦略」を丸ごと「堅持」することが表明されました。「新しい資本主義」は市民の目先をこまかく見せかけの言葉でしかなかったということになります。

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新自由主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

7月10日投票が予定されている参議院選挙。コロナ禍から教訓を得て、日本の医療・社会保障を充実させる政治への転換が求められている。今回は、この間の政府が公表した文書から、今後どのような医療政策が計画されているのかを解説する。

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める

「新しい資本主義」は、岸田氏が首相に就任した途端、総選挙の時の「分配から成長へ」のスローガンはたまたちに消滅しました。そして政府の経済政策の根本を決める